

パブリックディスプレイ

取扱説明書

E651-T

目次

| | |
|--|---------|
| 安全のために必ず守ること | 日本語 -1 |
| ご使用前に | 日本語 -6 |
| 付属品の確認 | 日本語 -7 |
| 設置 | 日本語 -8 |
| 壁掛け用や天吊り用として使用する場合 | 日本語 -9 |
| キャスター付きスタンド（別売）を使用する場合 | 日本語 -10 |
| 各部の名称 | 日本語 -11 |
| 正面図 | 日本語 -11 |
| 背面図 | 日本語 -12 |
| リモコン | 日本語 -13 |
| リモコンの使用範囲 | 日本語 -14 |
| リモコンの取り扱い | 日本語 -14 |
| 接続 | 日本語 -15 |
| 外部機器を接続する | 日本語 -15 |
| 電源を接続する | 日本語 -15 |
| 本機の電源を入れる | 日本語 -16 |
| 調節 | 日本語 -17 |
| 接続方法について | 日本語 -18 |
| 機能 | 日本語 -21 |
| 画面調節（OSD 機能） | 日本語 -23 |
| OSD メニュー一覧 | 日本語 -25 |
| 困ったとき | 日本語 -27 |
| 故障かな？と思ったら… | 日本語 -27 |
| 本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報） | 日本語 -32 |
| 保証とアフターサービス | 日本語 -32 |
| 付録 | 日本語 -33 |
| 用語解説 | 日本語 -35 |
| 仕様 | 日本語 -37 |
| [お知らせ] 本製品で使用している MPEG AVC ライセンスについて | 日本語 -38 |




安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

| | | | |
|--|--|---|--------------------------------------|
|  警告 | 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの |  注意 | 誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの |
|--|--|---|--------------------------------------|

図記号の意味は次のとおりです。

| | |
|---|---|
|  | △記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。 |
|  | ⊘記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。 |
|  | ●記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。 |

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜き液晶ディスプレイを安全な場所に移動する!!

異常のまま使用すると、液晶ディスプレイの落下・火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、液晶ディスプレイを安全な場所に移動させ、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなってください。転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。全ての地震に対してその効果を保証するものではありません。

| | | |
|--|---|---|
| <p>故障(画面が映らないなど)や煙、変な音・においがするときは使わない</p> <p>使用禁止</p> <p>火災・感電の原因となります。</p> | <p>液晶ディスプレイがぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は近づかない</p> <p>使用禁止</p> <p>お買い上げの販売店か、工事専門業者にご連絡ください。</p> | <p>傾斜面や不安定な場所に置かない</p> <p>禁止</p> <p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。</p> |
| <p>電源コードを傷つけない</p> <p>傷つけ禁止</p> <p>重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。</p> | <p>裏ぶたをはずさない</p> <p>分解禁止</p> <p>内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。</p> | <p>キャビネットを破損したときは使わない</p> <p>使用禁止</p> <p>火災・感電の原因となります。</p> <p>異物をいれない 特にお子さまにご注意</p> <p>禁止</p> <p>火災・感電の原因となります。</p> |
| <p>ポリ袋で遊ばない</p> <p>特にお子さまにご注意 本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因となります。</p> <p>禁止</p> | <p>修理・改造をしない</p> <p>けが・火災・感電の原因となります。</p> <p>修理・改造禁止</p> | <p>アースリード線を挿入・接触しない(日本用)</p> <p>禁止</p> <p>電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。</p> |
| <p>アース線を接続する(日本用)</p> <p>アース線を接続しないと故障のときに感電の原因となります。 アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。</p> <p>アース線を接続せよ</p> | <p>正しい電源電圧で使用する</p> <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。</p> <p>指示</p> | <p>雷が鳴り出したら、電源コード・アンテナ線などには触れない</p> <p>接触禁止</p> <p>雷が鳴り出したら電源コード・アンテナ線には触れないでください。感電の原因となります。</p> |
| <p>風呂場や水のかかるところに置かない</p> <p>水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。</p> <p>水ぬれ禁止</p> | <p>据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。</p> <p>指示</p> <p>工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。</p> | <p>液晶を口にしない</p> <p>液晶パネルが破損し、液晶がもれ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりしないようにしてください。中毒を起こすおそれがあります。万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。</p> <p>禁止</p> |

⚠ 注意

設置のときは次のことをご守りください。



床面に対して垂直置きになるように設置する

垂直置き

ななめ置きや水平置きに設置すると故障の原因となることがあります。

タッチパネルのお手入れ



センサーの定期的な清掃をお願いします

ほこりを取る

タッチパネル内蔵液晶ディスプレイは、赤外線センサーで検知しています。センサーに埃などが付着するとタッチパネルの反応が悪くなったりする場合がありますので、定期的な清掃をお願いします。



<お手入れの際の注意点>

- ・ センサーが汚れた場合には、コーナーを始点に綿棒や乾いた布で軽くふきとってください。
またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用は避けください。
- ・ センサーは傷つきやすいので、固いもので押しついたりこすったりしないように、お手入れの際には十分注意してください。
- ・ センサーは触指などにより汚れることがないようにご注意ください。

⚠ 注意

設置のときは次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

| | | |
|---|---|---|
| <p>布などで通風孔をふさがない</p>   <p>設置禁止</p> | <p>横倒し、伏せ置き、さかさまにしない</p>   <p>禁止</p> | <p>直射日光や熱器具のそばに置かない</p>   <p>設置禁止</p> |
| <p>屋外での使用禁止 本商品は屋内での使用を想定しています。屋外では使用しないでください。故障の原因となることがあります。</p>   <p>屋外での使用禁止</p> | <p>パネルに衝撃を加えない パネル面を硬いものでたたいたりして衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因となることがあります。また、パネル表面をペンや鉛筆など鋭利なもので触れないでください。 移動する際も、パネルに手などが接触しないようにしてください。</p>   <p>禁止</p> | |
| <p>車載用禁止 車載用など移動用途には使用できません。故障の原因となることがあります。</p>  <p>設置禁止</p> | <p>接続線をつけたまま移動しない 火災・感電の原因となることがあります。電源プラグや機器間の接続線はずしたことを確認のうえ、移動してください。</p>  <p>禁止</p> | <p>ディスプレイや置き台には乗らない ディスプレイや置き台には乗らないでください。また、キャスター付き置き台にディスプレイを設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。ディスプレイが倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。</p>  <p>禁止</p> |
| <p>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない 温度・湿度が急激に変化する環境で使用しない 温度・湿度が急激に変化したり、クーラーなどの冷風が直接吹き付ける環境で使用しないでください。本体内部の部品に影響を与えたり、結露が起きる場合があります。結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。</p>  <p>設置禁止</p> | | <p>狭い所に置かない</p>  <p>設置禁止</p> |
| <p>電源プラグを持って抜く コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。</p>   <p>プラグを持つ</p> | <p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p>   <p>ぬれ手禁止</p> | |
| <p>電源プラグを奥までさしこむ 電源プラグは奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。</p>   <p>抜けかかり禁止</p>  <p>しっかりと差し込んで</p> | <p>お手入れの際は電源プラグを抜く 感電の原因となることがあります。</p>  <p>プラグを抜く</p> <p>液晶パネルを廃棄する場合 ご自身で廃棄するのは大変危険ですので、お止めください。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。(→P32: 本機を廃棄するには(リサイクルに関する情報))</p> | |
| <p>長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを抜く</p>  <p>プラグを抜く</p> | | |

注意

キャビネットの通気口を掃除する

キャビネットの通気口がごみやほこりでふさがると故障の原因となることがあります。1年に一度はキャビネットの通気口を掃除してください。



通気口の掃除

1年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまると、火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。



内部掃除

電源プラグのほこりなどは定期的に取り

火災の原因となることがあります。1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。



ほこりを取る

推奨の溶剤でお手入れする

ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。)また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となることがあります。

パネル表面のお手入れに溶剤を使用される場合は水、エタノール、イソプロピルアルコールを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ると、商品を破壊するおそれがありますのでご注意ください。

タッチパネルのガラス板は、書き込み防止を目的としたAGコーティング処理が施されているため、表面にほこりや汚れがついているときは、やらかい布でやさしく拭いてください。ティッシュや硬いもので拭かないでください。また、表面が変色したり、不透明になる原因となりますので、タッチパネルのお手入れにベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対使用しないでください。



使用禁止

液晶ディスプレイの上手な使い方

キャビネットのお手入れ

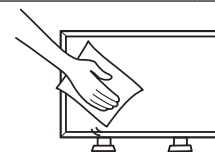
お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。溶剤をご使用の際は「推奨の溶剤でお手入れする」にて使用できる溶剤をご確認ください。



プラグを抜く

パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、硬いもので押しったりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふき取ってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。



上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cm離れたぐらいが見やすく目の疲れが少なくなります。

明るすぎる部屋は目が疲れやすくなるので、適度な明るさの中でご使用ください。

また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れたり視力が低下することがあります。疲れを感じた場合は目を休ませてください。

重要なお知らせ

残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。

残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。

「焼き付き防止機能」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

また、ディスプレイを使用しないときは、パワーマネージメント機能(パワーセーブ)やスケジューラー機能を使ったり、ワイヤレスリモコンや電源ボタンを操作して電源を切ることをおすすめします。

ご使用前に

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品



グリーンマーク

JIS C 0950 (通称 J-Moss) とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有状況により、次の2種類の表示マークがあります。

- ・含有マーク : 特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク
 - ・グリーンマーク : 同化学物質が含有率基準値以下(但し除外項目あり)である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク
- 本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、<http://www.nec-display.com/jp/environment/j-moss.html> をご覧ください。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Windows®は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。



HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface およびHDMI ロゴはHDMI Licensing Administrator, Inc.の米国その他の国における商標または登録商標です。



本製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby, Dolby Audio, ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

お願い

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は、0.00016%以下です。

本製品は、ISO9241-307基準に従い、ドット抜けの割合基準値は1サブピクセル(副画素)単位で計算しております。

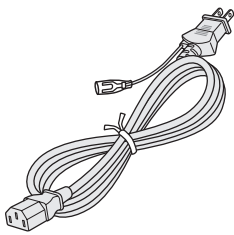
⚠ 注意

一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO9241-307に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(sub pixels)」となります。つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

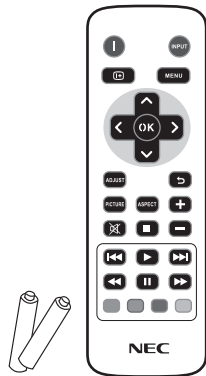
付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご確認ください。

- 電源コード
- ワイヤレスリモコン／単4形乾電池×2
- 保証書
- スタイラスペン^{*1}×4
- セットアップマニュアル



電源コード



ワイヤレスリモコン／
単4形乾電池×2



スタイラスペン^{*1}×4



保証書



セットアップマニュアル

***1：お願い スタイラスペンについて**

- ・タッチパネルの操作以外に使用しないでください。
 - ・ペン先を強く押さえないでください。
 - ・ペン先に異物が付いている場合は、取り除いてください。
- ・運搬する場合は、本機が入っていた梱包箱と緩衝材をご使用ください。

設置

設置する前に、以下の注意事項をお読みになり、正しく安全に設置してください。

⚠ 注意

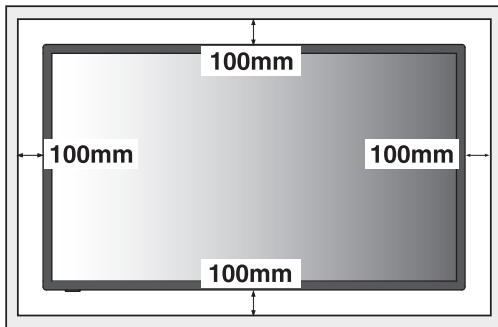
- ・ 設置する際は、お買い上げの販売店までご相談ください。

⚠ 注意

- ・ 移動や設置および取り付けの際は、十分な安全を確保できる人数(必ず2名以上)でおこなってください。
落下してけがの原因となることがあります。

■ 据付条件

熱がこもるのを防ぐため、狭い場所(壁埋め込みなど)に設置する場合は、ディスプレイの周囲は下図のように壁から離してください。



⚠ 注意

- ・ 本機の保証環境温度は40℃です。ケース等に入れて使用される場合は、ケース内部の温度が40℃以下となるよう、ケースにファンを取り付ける、通風口を設けるなどの処置をおこなってください。
なお、本機は保証温度を超える環境になると「警告」が表示されます。「警告」が表示された環境での使用は故障の原因となることがありますので、電源を切ってください。
- ・ 壁やカーテンなどの周りの状況によっては、内蔵スピーカーの音質や音の広がりなどが変わり、内蔵スピーカーからの音が聞こえにくくなる場合があります。

壁掛け用や天吊り用として使用する場合

■ 壁掛け・天吊り時の注意事項

⚠ 注意

- 壁掛け・天吊りの設置をする前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お客様による壁掛けや天吊りの設置は絶対におやめください。壁掛けや天吊りの設置はお買い上げ販売店か工事専門業者にご依頼ください。
- 壁や天井の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、取り付け場所については工事専門業者または販売店にご相談ください。
- 設置後のメンテナンス
 - ねじのゆるみや部品のずれ・ゆがみなど異常や不具合が発見された場合には、すぐに工事専門業者または販売店に修理を依頼してください。
 - 環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足するおそれがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、メンテナンスをおこなってください。

なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損害については、弊社は一切責任を負いません。設置の依頼にあたっては以下の注意点を設置業者にご提示ください。

■ 取り付け向きについて

本機を縦型の状態で使用するときは、必ず正面から見て右側面を上側にしてください。上下逆さまでの設置はできません。



■ 取り付け場所について

本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できる、強度のある場所を選んでください。強度の不十分なところに設置すると、落下して重大事故の原因となることがあります。

人が容易にぶら下がったり、寄り掛かれるような場所、頭や目がぶつかってしまうような場所、振動、衝撃の加わる場所、または、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。壁に埋め込むなど、本機の背面に空間が無いように設置する場合は、本機の上下左右にそれぞれ100mm以上の空間を設けてください。

設置の場所や状態によって本機内部に熱がこもらないように、空調や通風には十分配慮してください。

荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受けるようにし、確実に取り付けてください。

強度が不十分な設置面への直接取り付けはおこなわないでください。

■ 取付金具について

必ずVESA規格に準拠した取付金具を使用してください。

金具取り付け面の強度を十分確認して設置してください。

市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。

取り付け前に、強度など安全性の確認をおこなってください。

金具の一部がディスプレイの通風孔をふさがないようにご注意ください。

取り付け方法、安全な設置方法の詳細は、市販の取付金具の取扱説明書をご参照ください。

取付金具や取り付け場所に不具合が発生した場合を想定して、複数の取付金具を使用する、複数の場所で支える、転倒・落下防止などの対応をおこなってください。

■ 設置方法

1. 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷きます。

⚠ 注意

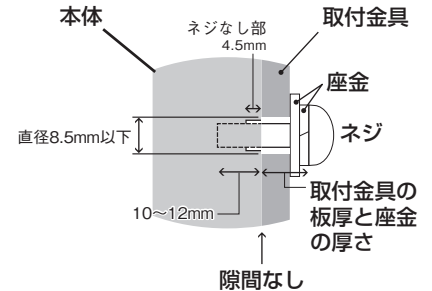
・ 必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。

2. ディスプレイをその上に置きます。

3. VESA規格に準拠した金具を取り付けてください。

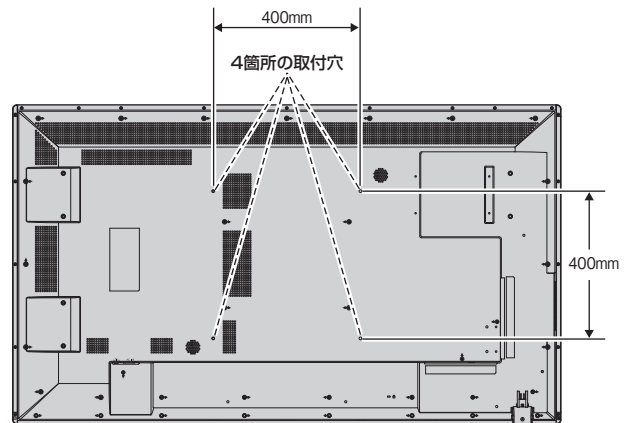
お願い

- 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。
- 取付穴は背面に4個あります。取り付けの際は上下左右均等に取り付けてください。
(推奨取り付け例は下記をご参照ください)
- ディスプレイの取付面と取付金具との間には隙間が無いようにしてください。
- ディスプレイへの金具の取り付けには、M6ネジ(長さは取付金具の板厚と座金の厚さ+10~12mm)を使用し、しっかりと締めてください。(締付トルク 470~635N・m)
- 取付金具のネジ穴は直径8.5mm以下にしてください。



⚠ 注意

- ・ 取り付け、取り外し方法の詳細は、市販の壁掛け用や天吊り用金具の取扱説明書を参照してください。



キャスター付きスタンド(別売)を使用する場合

■ キャスター付きスタンドの取り付け

⚠ 注意

- ・ スタンドの取り付けは、十分な安全を確保できる人数(必ず2名以上)でおこなってください。落下してけがの原因となることがあります。
- ・ 機器の内部を破損する可能性がありますので、スタンドに付属のネジをお使いください。
- ・ スタンド取り付け時、本体とスタンドの間に手を挟まないように注意してください。

スタンドの取り付けにはスタンドの取扱説明書を良くお読みください。

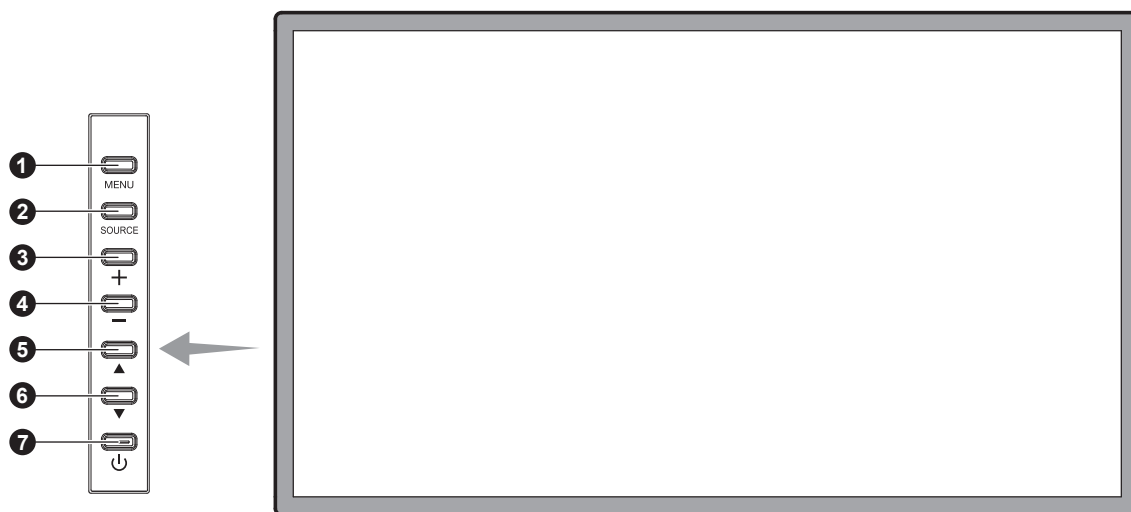
別売のスタンドはST-CS50-Bをご使用ください。

⚠ 注意

- ・ 一時的にディスプレイを平置きする場合は、パネル面が下になるように置いてください。パネル面を上向きに置くと、本体に力が加わり、本体および前面ガラスに歪みが生じる場合があります。そのまま使用するとタッチパネルが反応しない原因となることがあります。

各部の名称

正面図



① MENU ボタン

OSD 画面を表示します。

② SOURCE ボタン

映像入力を切り替えます。

[HDMI1]、[HDMI2]、[HDMI3]、[VGA]、[USB] を、アップ(▲)／ダウン(▼)ボタンで選択できます。

③ プラスボタン

音量を上げます。

④ マイナスボタン

音量を下げます。

⑤ アップボタン

OSD メニューで選択された箇所を上に移動します。

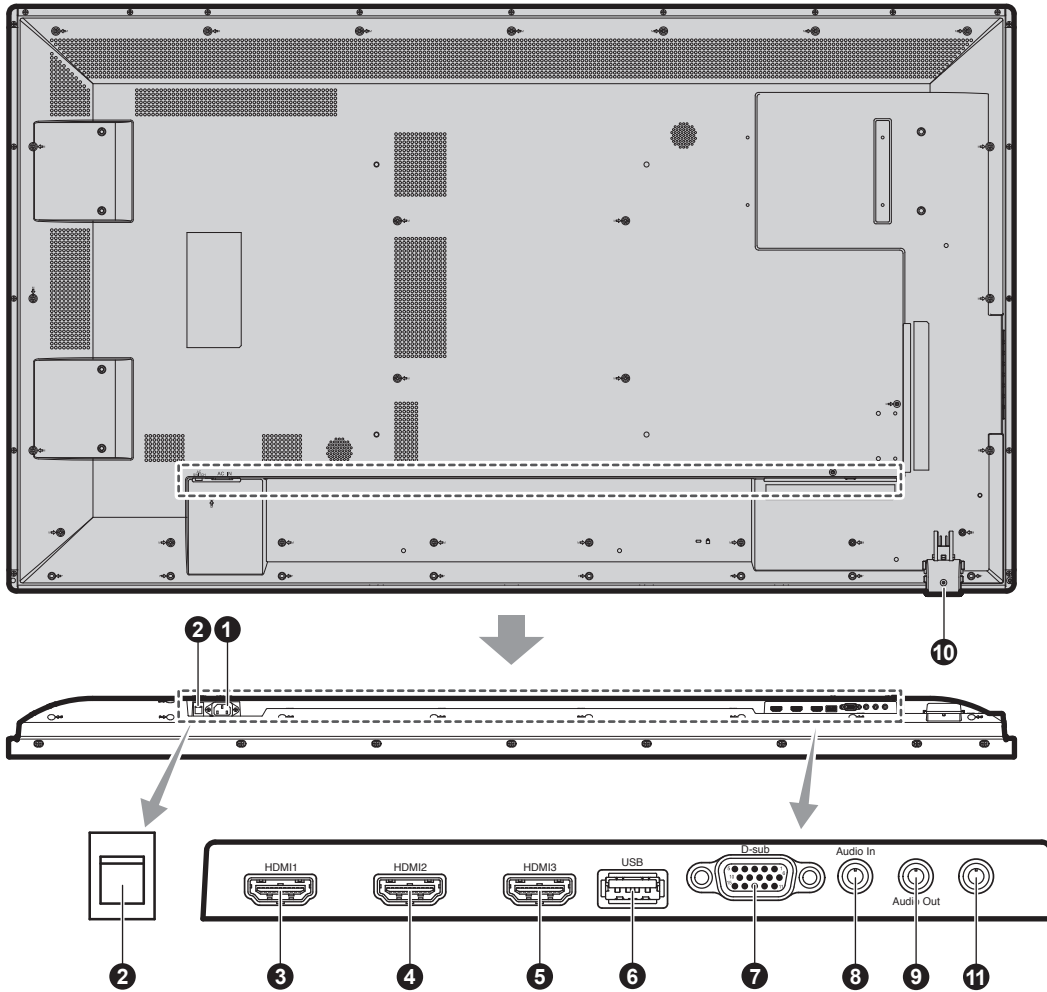
⑥ ダウンボタン

OSD メニューで選択された箇所を下に移動します。

⑦ 電源ボタン

電源をオン/オフするときに押します。

背面図



① 電源入力コネクタ(3極アース端子付き)

電源コードを接続します。

② 主電源スイッチ

主電源をオン/オフするときに押します。

↑ : オン ○ : オフ

出荷時はオフになっています。

③④⑤ HDMI入力コネクタ

デジタル映像インターフェースのHDMI規格に準拠した機器と接続します。

⑥ USBポート

ポータブルメディア (USBメモリなど) 用のUSBポートです。対応メディアについては付録「対応メディア仕様」(→P33) をご確認ください。

⑦ VGAコネクタ(ミニD-Sub 15ピン)

アナログ出力のコンピュータの映像出力コネクタと接続します。

⑧ オーディオ入力コネクタ

コンピュータ、ビデオプレーヤー、DVDプレーヤーなどの音声出力コネクタと接続します。

⑨ オーディオ出力コネクタ

オーディオ入力(⑧)と同じ信号を出力します。
ヘッドホン用端子ではありません。

⑩ リモコンボックス

リモコン受光部と電源ランプが収納されており。

リモコン受光部：

ワイヤレスリモコンの信号受光部です。

電源ランプ：

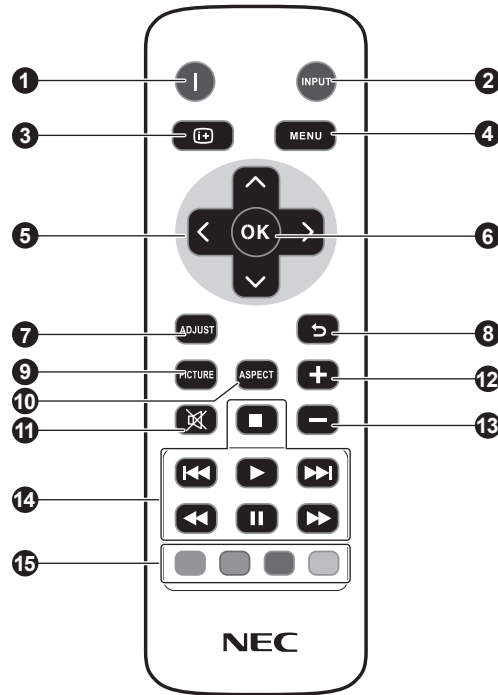
| | |
|----------------|--------------|
| 電源ボタン入 | ： 緑色点灯 |
| 電源ボタン切(スタンバイ時) | ： 赤色点灯 |
| パワーセーブ時 | ： 橙色点灯 |
| 主電源スイッチ切時 | ： 消灯 |
| スケジュール待機時 | ： 緑色と橙色交互に点滅 |
| 異常検出時 | ： 赤色点滅 |

詳しい使用方法については「リモコンの使用範囲」(→P14) をご確認ください。

⑪ サービスポート(カスタマーサービス用)

メンテナンス用の端子です。使用できません。

リモコン



① 電源ボタン

電源をオン/オフするときに押します。

② INPUT ボタン

OSDメニューを表示して映像入力を切り替えます。
[HDMI1]、[HDMI2]、[HDMI3]、[VGA]、[USB]から選択します。

③ INFO ボタン

現在のディスプレイの解像度とリフレッシュレートを表示します。

④ MENU ボタン

OSD画面をON/OFFします。

⑤ 上/下/右/左ボタン

OSD画面が表示されているとき調整項目を動かします。

⑥ OK ボタン

OSD画面で調節した内容を決定します。

⑦ ADJUST ボタン

VGA入力画像を自動調整します。

⑧ BACK ボタン

ひとつ前のOSD画面に戻ります。

⑨ PICTURE ボタン

[ダイナミック]、[シネマ]、[カスタム]、[スタンダード]から画像モードを選択します。

⑩ ASPECT ボタン

画面表示のアスペクトを[4:3]、[16:9]、[ズーム]、[シネマ]、[ドットバイドット]から選択します。

⑪ ミュートボタン

音を消します。もう一度押すと音が出ます。

⑫ 音量調節プラスボタン

音量が大きくなります。

⑬ 音量調節マイナスボタン

音量が小さくなります。

⑭ AUDIO/VIDEO CONTROL ボタン

メディアファイルの再生中に制御機能を提供します。
早戻し(◀◀)、再生(▶)、早送り(▶▶)、前(◀◀◀)、停止(■)、一時停止(⏸)、次(▶▶▶)

⑮ MEDIA CONTROL ボタン

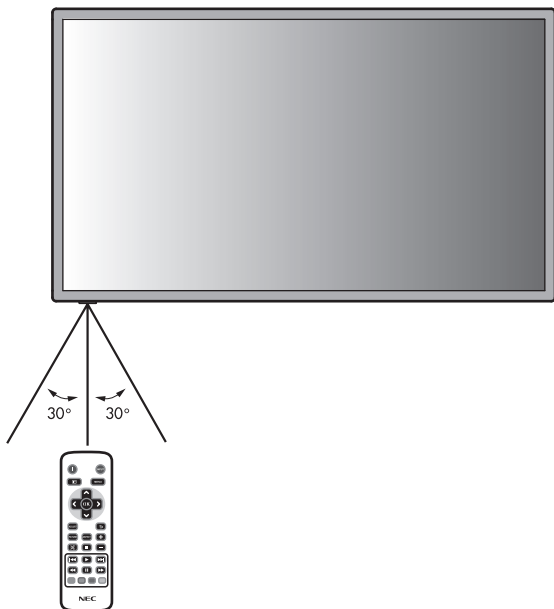
特定のメニューの各種制御機能を提供します。
各ボタンの機能は、それぞれのボタンの色でOSDに表示されます。

リモコンの使用範囲

リモコンの操作をするときは本機リモコンボックスのリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。

リモコンボックスは液晶ディスプレイ背面の左側にある小さな黒いボックスです。リモコンボックスを所定の位置にロックされるまで、液晶ディスプレイ背面からスライドして引きだします。

リモコンボックスを元の位置に戻すには、この手順を逆の順序で実行します。



⚠ 注意

- ・ リモコンで使用の際はリモコン受光部がしっかりと見えた状態でリモコンの先を受光部に向けてご使用ください。

お知らせ

- 太陽の直射日光や強い光の当たるところ、または、蛍光灯の近くでは、リモコン操作がきかない場合があります。

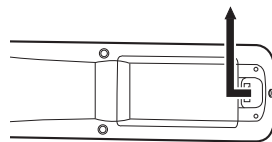
リモコンの取り扱い

リモコンに電池を入れる

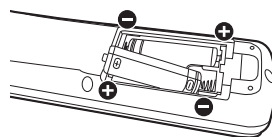
単4形乾電池2つが必要です。

下図に従って電池を入れてください。

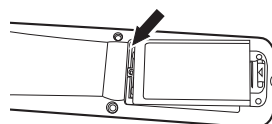
1. ふたを矢印のように押しながらかき上げる



2. ケース内部の表示通りに⊕⊖を合わせて入れる



3. ふたを元に戻す



⚠ 注意

- 乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。
- ・ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- ・ 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- ・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- ・ 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となるおそれがありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

お知らせ

- 付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管しておいてください。

お願い

- 強い衝撃を与えないでください。
- 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- 熱やスチームなどにあてないでください。

接続

外部機器を接続する

- ・接続する外部機器を保護するため、接続の際には電源を切ってください。
- ・接続する機器のそれぞれの取扱説明書に従って接続してください。

お願い

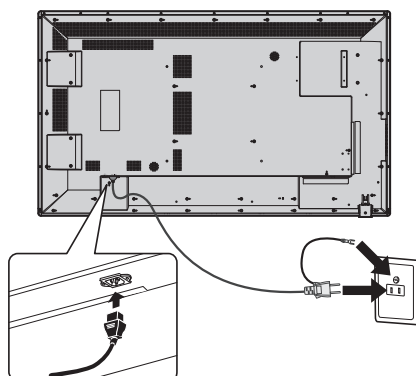
- 本機または外部機器の電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しはおこなわないでください。

電源を接続する

お願い

- 電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電源容量が供給されることを確認してください。
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。

1. 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む
奥までしっかり差し込んでください。
2. アースリード線を接地(アース接続)する
3. 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する



⚠ 警告

- ・表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本機には一般のご家庭のコンセント (AC100V) でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外 (最大AC240V) でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- ・電源プラグのアースリード線は必ず接地(アース)してください。
なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

お願い

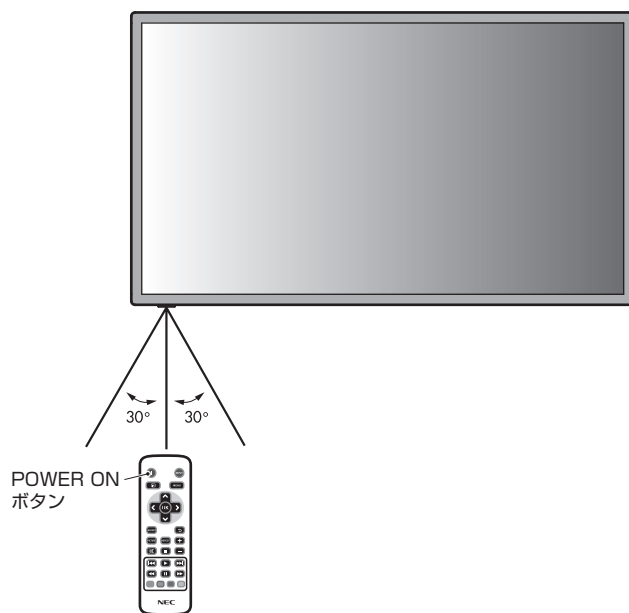
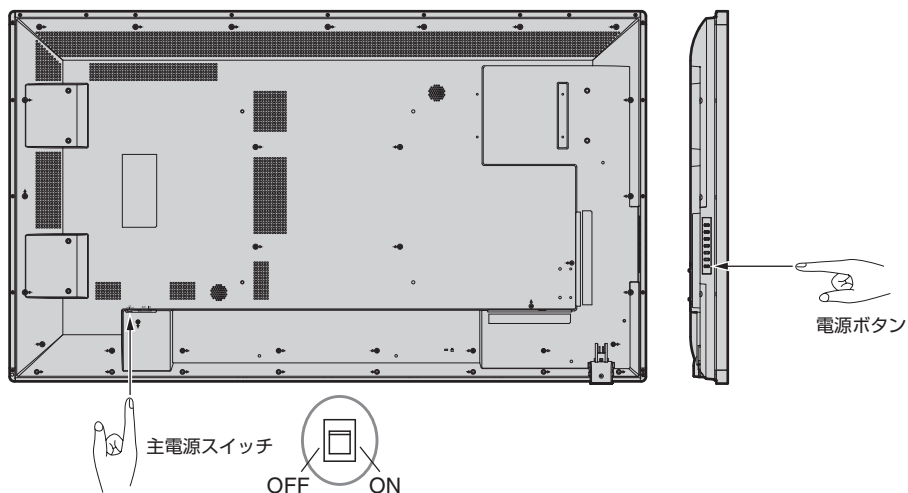
- 電源コンセント周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

本機の電源を入れる

電源がオンの場合、電源ランプは緑色に点灯します。電源がオフの場合は赤または橙色に点灯します。

お知らせ

- 主電源スイッチがON(|)になっていることを確認してから操作してください。



調節

1. 主電源スイッチ(→P16)をオンにする
2. 本機およびコンピューターや映像機器の電源を入れる
3. 画面の調節をおこなう

- VGAの入力コネクター使用の場合は、「自動調節をする」の手順にしたがって自動調節をしてください。
自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は「画面調節(OSD機能)」(→P23)をご覧ください。
- VIDEO系の入力端子(HDMI)の場合は、調節は不要です。

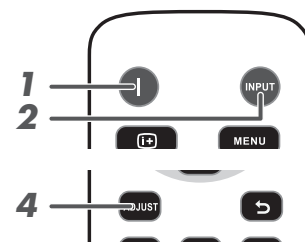
自動調節をする(VGA入力選択時のみ)

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。(→P23)

お知らせ

- 自動調節はアナログ接続をした際に、適切な画面を表示するよう、画面の水平／垂直位置、クロック周波数、位相、ホワイトレベルを自動で調節します。デジタル接続では自動調節は不要です。

1. 本機およびコンピューターの電源を入れる
2. 本体のSOURCEボタンまたはリモコンのINPUTボタンで、映像入力を「VGA」に切り替える
3. 画面全体にワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する
4. リモコンのADJUSTボタンを押す



長くお使いいただくために

液晶ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があり、バックライトの明るさは使用時間に応じて低下します。また、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る「残像」という現象が発生する場合があります。残像は画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えにくくなります。本機を長くご使用いただくために、次の点にご注意ください。

- 使用していないときは本機の電源を切ってください。
 - ・ 本機またはリモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
 - ・ パワーセーブ機能(→P25)を「ON」に設定してください。信号が入力されないときに自動的にパワーセーブモードに切り替わります。工場出荷時は「ON」に設定されています。
 - ・ スケジューラー機能(→P25)を使用して、使用する時間に合わせて自動的に電源をオン／オフしてください。

お知らせ

- スケジューラー機能を使用する場合は必ず日付／時刻設定(→P26)をおこなってください。
- 液晶パネルにかかる負担を軽減するため、焼き付き防止機能(→P26)を使用してください。

接続方法について

お願い

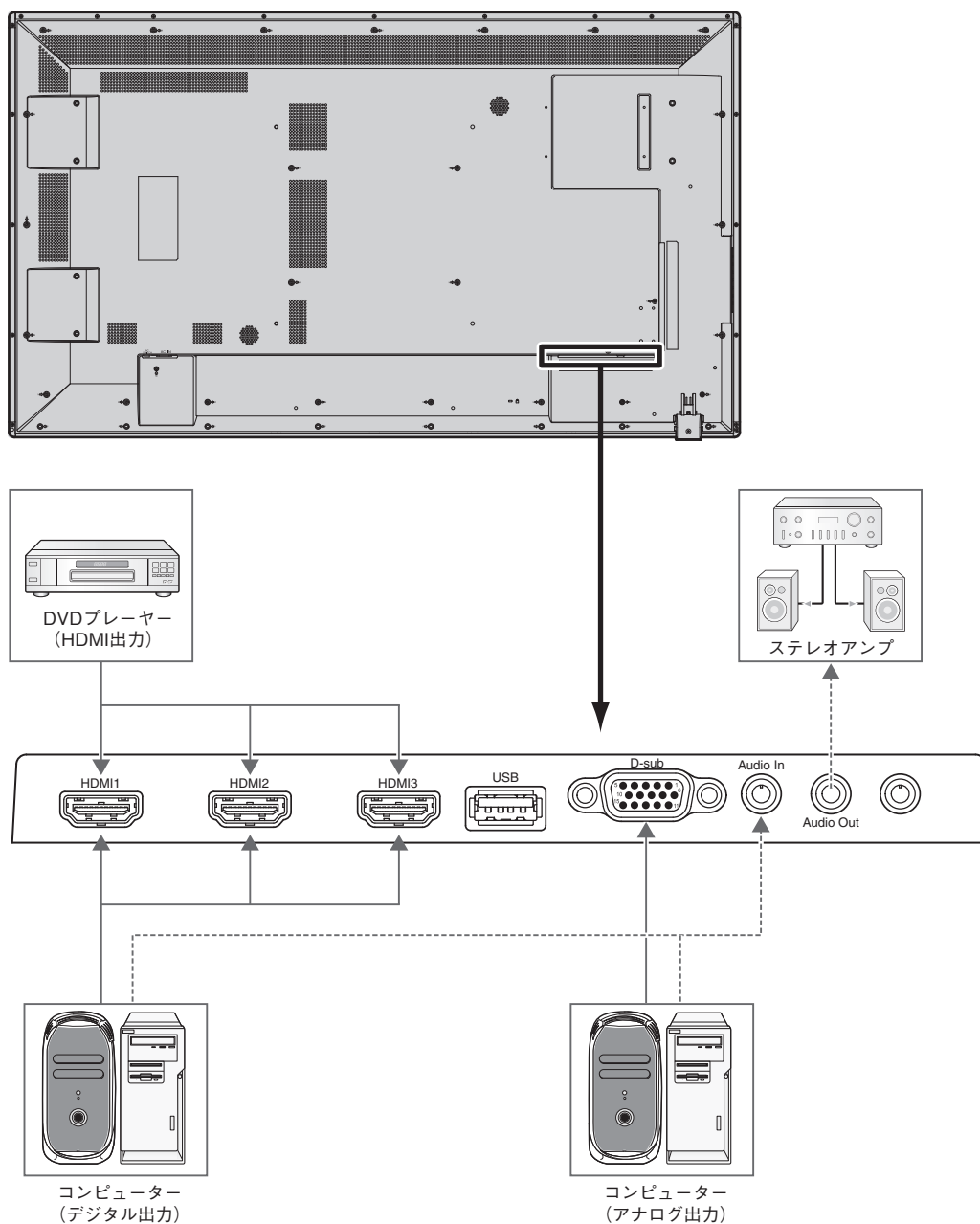
- 本機または外部機器の電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しはおこなわないでください。

接続する前に

- ・ コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。
- ・ それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 接続するオーディオ機器やコンピューターの音声出力端子の形状がステレオミニジャックの場合は、オーディオケーブルは抵抗なしを使用してください。
- 抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音が出ない場合があります。



| 接続機器 | 接続コネクター | 入力信号名称 | 音声入力 | リモコンのINPUTボタン |
|---------|-------------|--------|---------|---------------|
| AV機器 | HDMI | HDMI | HDMI | HDMI |
| コンピューター | VGA (D-SUB) | VGA | LINE IN | VGA |
| | HDMI | HDMI | HDMI | HDMI |

コンピューターとの接続

本機はコンピューターのディスプレイとして使うことができます。下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると自動的に適切な画面を表示します。

<工場プリセットタイミング>

| 解像度 | 走査周波数 | | 備考 |
|-------------|---------|------|-----------|
| | 水平 | 垂直 | |
| 640 x 480 | 31.5kHz | 60Hz | |
| 800 x 600 | 37.9kHz | 60Hz | |
| 1024 x 768 | 48.4kHz | 60Hz | |
| 1280 x 768 | 48.0kHz | 60Hz | |
| 1360 x 768 | 48.0kHz | 60Hz | |
| 1280 x 1024 | 64.0kHz | 60Hz | |
| 1600 x 1200 | 75.0kHz | 60Hz | 簡易圧縮表示 |
| 1920 x 1080 | 67.5kHz | 60Hz | 推奨信号タイミング |

お知らせ

- 入力される信号の解像度によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。また、ドットクロック周波数が162MHz以上の信号に対しては、映像を正しく表示することができない場合があります。

- ・ G3シリーズより古いMacintoshを使用する場合は、変換アダプターが必要です。マッキントッシュ変換アダプターについては販売店へご相談ください。
- ・ Macintosh PowerBookを使用する場合は“Mirroring”をoffにしてください。詳しくはMacintoshの取扱説明書を参照してください。

HDMI出力端子のある機器との接続

本機はHDMI出力付DVDプレーヤーやコンピューターなどと接続して使用することができます。詳しくは、DVDプレーヤーなどの取扱説明書を参照してください。

- ・ オーディオ入力は「音源(OSD機能)→P25」で[Line In/HDMI1]または[Line In/HDMI2]または[Line In/HDMI3]を選択します。
- ・ HDMIケーブル(市販)はHDMIロゴがついているものをご使用ください。
- ・ HDMI機器によっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ・ ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。
- ・ 1920×1080の解像度で全画面に表示されず、縮小されている場合があります。このときは、ビデオカード側の設定をご確認ください。

タッチパネルをお使いの場合

1. 液晶ディスプレイの主電源スイッチをOFFにします。
2. 機器を接続します。*1
USBケーブルを使用して、コンピューターを接続してください。(図1)
3. 液晶ディスプレイの電源を入れます。
4. 液晶ディスプレイを設定します。
入力信号は接続したコンピューターからの信号に設定してください。

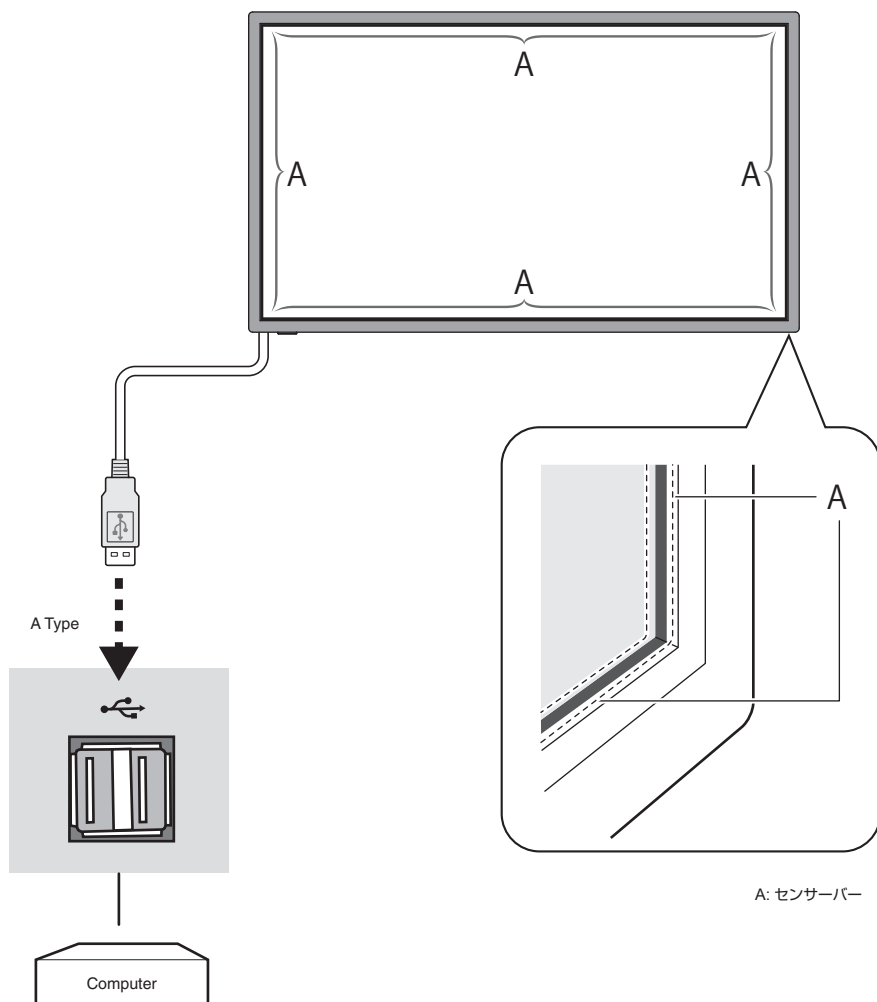


図1

*1: 詳細については、各販売店にお問い合わせください。

機能

パワーマネジメント機能

本機の電源を入れたままでも、コンピューターを使用しない時に本機の消費電力を減少させる機能です。

この機能はVESA DPM対応パワーマネジメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合のみ機能します。

ビデオカードによっては正しく動作しない場合があります。

パワーマネジメント設定「パワーセーブ(OSD機能)」(→P25)がONに設定されていることを確認してください。

【ミニ解説】

DPM : Display Power Managementの略です。

| モード | 消費電力 | 電源ランプ |
|----------------------|--------------|-------|
| 通常動作時 *1 | 140W | 緑色点灯 |
| パワーマネジメントモード(パワーセーブ) | 0.5W以下 *1,*2 | 橙色 |

* 1 : 工場出荷時の設定条件

* 2 : VGA入力選択時

お知らせ

- 工場出荷時は「パワーマネジメント設定(パワーセーブ)」をONに設定しています。

映像モード切替

- ・ 本体のSOURCEボタンまたはリモコンのINPUTボタンを押して、表示したい機器が接続されている映像入力端子を選びます。
- ・ 工場出荷時はHDMI1に設定しています。

アスペクト変更

「アスペクト(OSD機能)」(→P25)またはリモコンのASPECTボタンで画面のアスペクトを選択することができます。

- ・ [4:3]、[16:9]、[ズーム]、[シネマ]、[ドットバイドット]から選択します。
- ・ [オーバースキャン] がオフの場合、[4:3]、[16:9]、[ドットバイドット]のみ選択できます。

| 入力ソース | アスペクトのメニュー設定 | |
|-------------------------|--------------|---------------------------------------|
| | オーバースキャン | アスペクト |
| HDMI1/HDMI2/HDMI3 PC | オフ | 4:3 16:9 ドットバイドット |
| | 自動 | 4:3 16:9 ズーム シネマ ドットバイドット |
| メディア動画 | オフ | 4:3 16:9 ドットバイドット |
| | 自動 | 4:3 16:9 ズーム ドットバイドット |

お知らせ

- 営利目的または公衆に視聴されることを目的として喫茶店、ホテル等においてアスペクト変更等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等をおこないますと著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意願います。

画像モード

「画像モード(OSD機能)→P25」またはリモコンのPICTUREボタンでお好みの表示モードを選択することができます。

Standard → Dynamic → Cinema → Custom
↑

インフォメーション

リモコンのINFOボタンを押すと、選択されている映像入力端子、解像度情報、垂直周波数等の情報を表示します。

Plug&Play 機能 (VGAのみ)

VESAのDDC(Display Data Channel)2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。

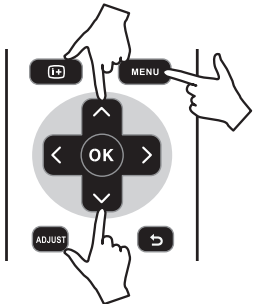
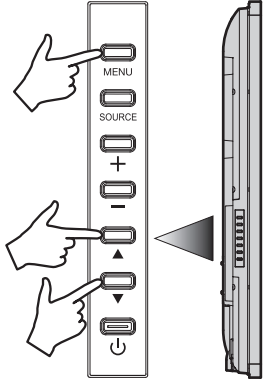
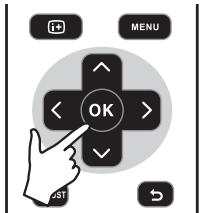
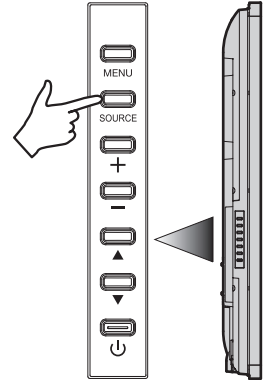
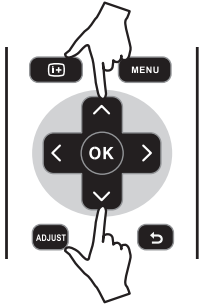
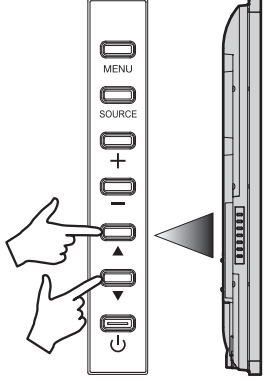
詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

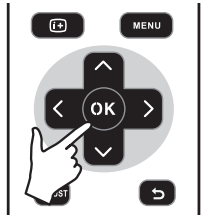
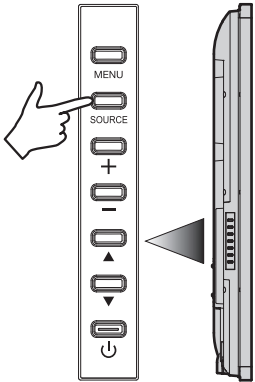
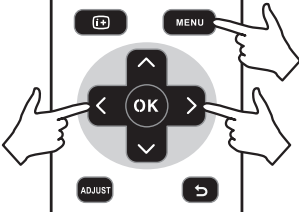
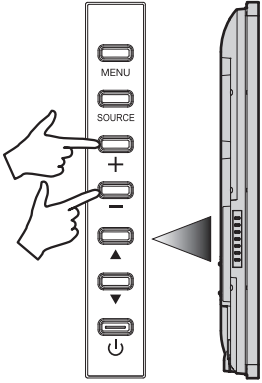
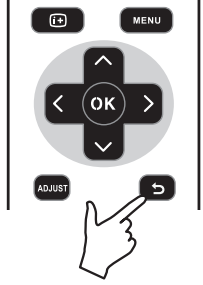
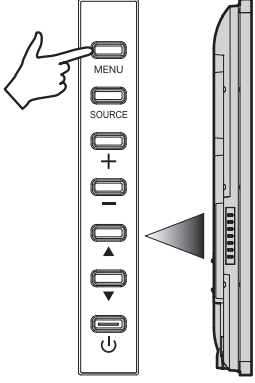
画面調節 (OSD 機能)

本機では、設定を簡単に調整できるよう OSD(オンスクリーンディスプレイ)機能を採用しています。OSD 機能で、画面に表示されたメニューを制御し、輝度やその他の設定を調整できます。

OSD 画面の基本操作

電源ランプが緑色に点灯し、本機の電源がオンであることを確認してください。

| ステップ | ワイヤレスリモコン | 本体キーパッドのボタン |
|------|---|---|
| 1 |  <p>[MENU] ボタンを押して、OSD 画面を表示し、上 (▲) / 下 (▼) ボタンを使用して、メインメニューの項目を選択します。</p> |  |
| 2 |  <p>[OK] ボタンを押して選択したメインメニューを確認すると、一番上にあるサブメニューが選択されます。</p> |  <p>[SOURCE] ボタンを押して選択したメインメニューを確認すると、一番上にあるサブメニューが選択されます。</p> |
| 3 |  <p>上 (▲) / 下 (▼) ボタンを使用して、サブメニューを選択します。</p> |  |

| ステップ | ワイヤレスリモコン | 本体キーパッドのボタン |
|------|---|--|
| 4 |  <p data-bbox="272 584 842 613">[OK] ボタンを押して選択したサブメニューを確定します。</p> |  <p data-bbox="911 584 1474 640">[SOURCE] ボタンを押して選択したサブメニューを確定します。</p> |
| 5 |  <p data-bbox="272 1055 847 1111">左 (◀) と右 (▶) のボタンを使用して、設定を選択し、[OK] ボタンを押して確定します。</p> |  <p data-bbox="911 1055 1485 1111">プラス (+) とマイナス (-) のボタンを使用して、設定を選択し、[MENU] ボタンを押して確定します。</p> |
| 6 |  <p data-bbox="272 1525 842 1581">[BACK] ボタンを押して現在のメニューを終了して、前のメニューに戻ります。</p> |  <p data-bbox="911 1525 1453 1554">[MENU] ボタンを押して現在のメニューを終了します。</p> |

OSD メニュー一覧

| 映像 | |
|----------------|--|
| 画像モード | [ダイナミック]、[シネマ]、[カスタム]、[スタンダード]から画像スタイルを選択します。 コントラスト、輝度、シャープネス、色合い、色設定を調節します。 |
| バックライト | バックライトの設定を調節します。 |
| 色温度 | 色温度とゲインを調節します。 |
| ガンマ | ガンマの設定を選択します。 |
| ノイズリダクション | ノイズを低減する度合いを調節します。 |
| アダプティブコントラスト | アダプティブコントラストをオン/オフします。 |
| オーバースキャン | オーバースキャンの設定を調節します。 |
| アスペクト | ・アスペクト比の設定を調節します。 ・[4:3]、[16:9]、[ズーム]、[シネマ]、[ドットバイドット]から選択します。 ・[オーバースキャン]がオフの場合、[4:3]、[16:9]、[ドットバイドット]のみ選択できます。 |
| 色範囲 | 色範囲の設定を調節、または[自動]に設定します。 |
| VGA設定 | 水平・垂直位置、クロック、位相を調節します。 |
| 映像設定をリセット | 設定を工場出荷設定に戻します。 |
| 音声 | |
| 音声モード | [標準]、[ダイナミック]、[カスタム]から音声スタイルを選択します。 高音、低音、バランスの設定を調節します。 |
| サラウンドサウンド | サラウンドサウンドをオン/オフします。 |
| スピーカー | 内部または外部スピーカーを選択します。 |
| 音源 | [Line In/HDMI1]と[Line In/HDMI2]と[Line In/HDMI3]と[Line]のいずれかを音声ソースとして選択します。 |
| 音声設定をリセット | 設定を工場出荷設定に戻します。 |
| 設定 | |
| スケジューラー | スケジュールの設定を変更します。電源オン/オフ時間、入力、及び周期で7つスケジューラーを決めて設定が出来ます。 ・入力は[HDMI1]、[HDMI2]、[HDMI3]、[VGA]、[USB写真]、[USB-音楽]、[USB動画]から選択します。 ・USB写真またはUSB音楽またはUSB動画をパワーオン時の入力に選んだ場合、プレイリストに沿って再生されます。もしプレイリストを作成していなかった場合、USBのルートにあるUSB写真、USB音楽またはUSB動画ファイルを自動再生します。 |
| 信号チェック優先度 | ・信号の優先度を1～5で設定します([優先度1]が最高)。現在のソース信号を失うと、ディスプレイが信号チェック優先度の設定に応じて新たな信号ソースを検索します。 ・[信号チェック優先度]が有効になっている場合、電源オン時にディスプレイが信号チェック優先度の設定に応じて有効な信号ソースを検索します。 ・[優先度1]の信号ソースがない場合、ディスプレイは優先度の高い順に別のソースを確認して、ソースを適宜切り換えます。 ・優先度の一番高い信号ソースが復活したら、ディスプレイは自動的にこのソースに再び切り換えます。 ・[信号チェック優先度]が無効になっている場合、電源オン時にディスプレイは最後に使用したソースを使用します。 ・[信号チェック優先度]が有効になっている場合、電源オン時にソースがUSBのときは、システムはUSBを自動再生します。 |
| CECコントロール | CECコントロール機能を有効/無効にします。 |
| スリープタイマー | スリープタイマーの設定を変更、またはスリープタイマーをオフにします。 |
| パワーセーブ | パワーセーブの設定を変更、またはパワーセーブモードをオフにします。 |
| ソフトウェアの更新(USB) | USBポート経由でソフトウェアを更新します。 |
| 工場出荷設定に戻す | 設定を工場出荷設定に戻します。 |

| 初期設定 | |
|-------------|---------------------------------|
| OSD回転 | [垂直]と[水平]のいずれかを OSDの向きとして選択します。 |
| メニュー言語 | OSDメニューの言語を変更します。 |
| 時刻の形式 | 12時間形式と24時間形式のいずれかを選択します。 |
| 時計 | 時刻と日付を変更します。 |
| リモコン操作 | リモート操作を有効/無効にします。 |
| キーボード操作 | キーボード操作を有効/無効にします。 |
| 焼き付き防止 | 2つの焼き付き防止モードのうち1つを選択するか、オフにします。 |
| システム情報 | |
| モデル名 | ディスプレイの型番を表示します。 |
| ソフトウェアバージョン | ディスプレイの現在のソフトウェアのバージョンを表示します。 |

困ったとき

故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

| 症状 | 状態 | 原因と対処 | 参照 |
|-------------------|--|--|---------|
| 画面に何も映らない | 電源ランプが赤色に点滅している場合 | 本機の内部温度が保証温度を超えたために強制的に電源が切られた可能性があります。内部温度が保証温度以下になれば再度電源を入れて使用して問題ありません。 | |
| | | 本機の故障である可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。 | P32 |
| | 電源ランプが赤色に点灯している場合 | 電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。 | P16 |
| | | オートスタンバイが作動している可能性があります。電源ボタンを押してください。 | P25 |
| | 電源ランプが点灯しない場合 | 電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。 | P15 |
| | | 電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。 | |
| | | 主電源スイッチがオフになっている可能性がありますので、確認してください。 | P16 |
| | 電源ランプが緑色に点灯している場合 | 信号入力が無い入力コネクタが選択されている可能性があります。本体のSOURCEボタンまたはリモコンのINPUTボタンを押して、入力コネクタを切り替えてください。 | |
| | | OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 | P23 |
| | | ● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。 | P32 |
| | | ● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「映像設定」の「バックライト」と「コントラスト」を調節してください。 | P25 |
| | | ● OSD画面が正常に表示され、「バックライト」と「コントラスト」を調節しても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。 | P18, 19 |
| 電源ランプが橙色に点灯している場合 | パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。 | P21 | |
| | 信号ケーブルが本機または接続機器のコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。 | P18, 19 | |
| | 変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。 | P18, 19 | |
| | 接続しているコンピューターや映像機器の電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。 | | |
| 画面が表示しなくなった | 正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合* | 新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。 | P32 |

* 液晶ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

表示がおかしいときは…

| 症 状 | 原因と対処 | 参照 |
|---|---|---------|
| 画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある | 液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 | P6 |
| 画面表示の明るさにムラがある | 表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 | |
| 画面に薄い縦縞の陰が見える | 表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 | |
| 細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる | 細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 | |
| 画面を見る角度によって色がおかしい | 視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。 | P35, 37 |
| 画面の表示状態が変わっていく | 液晶ディスプレイは、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがあります。液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 | |
| 画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている | 長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像が起こることがあります。電源を切るか、変化する画面を表示していれば、像は1日程度で自然に消えます。長時間に渡って静止画面を表示すると、残像が消えなくなる場合がありますが、故障ではありません。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。 | P5 |
| 表示色がおかしい | OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 | P23 |
| | ● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。 | P32 |
| | ● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「画像モード」の「色設定」を選択しお好みで色の割合を調節していただくか、または映像設定リセットをおこなって工場出荷値に戻してください。 | P25 |
| ● OSD画面が正常に表示され、「映像設定」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。 | P25 | |
| 画面がちらつく(分配器を使用している場合) | 分配器を中継させず、コンピューターと直に接続してください。 | P18 |
| 画面がちらつく(上記以外の場合) | OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 | P23 |
| | ● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。 | P32 |
| | ● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「VGA設定」の「位相」を選択し調節してください。 | P25 |
| ● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。 | P25 | |
| 自動的に電源が切れてしまう | スリープタイマーが設定されていませんか。 | P25 |
| スケジューラー機能で設定したとおりに動作しない | スリープタイマーが設定されていませんか。 スリープタイマーが「ON」と設定されている場合は、スケジューラー機能は動作しません。 | P25 |

案内画面／注意画面が表示されたら…

| 症状 | 原因 | 対処 | 参照 |
|-------------------|--|--------------------------------------|-----|
| 画面に「無信号」が表示された* | 信号ケーブルが本機またはコンピュータのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。 | 信号ケーブルを本機およびコンピュータのコネクタに正しく接続してください。 | P18 |
| | 信号ケーブルが断線している可能性があります。 | 信号ケーブルが断線していないか確認してください。 | |
| | 電源ランプが橙色に点灯している場合は、コンピュータの電源が切れている可能性があります。 | コンピュータの電源が入っているか確認してください。 | |
| | コンピュータのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。 | マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。 | P21 |
| | 本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。 | 入力周波数またはコンピュータの解像度を変更してください。 | P19 |
| | 本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。 | 入力周波数またはコンピュータの解像度を変更してください。 | P19 |
| 画面に「温度警告!!」が表示された | 周りの環境が保証温度を超えた状態になっています。 | 故障の原因となりますので、電源を切ってください。 | |

※ コンピューターによっては、電源を入れたり解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

その他(コンピューターと接続している場合)

| 症状 | 原因 | 対処 |
|---------------------------|--|--|
| 解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう | うまく信号が入出力できないことがまれにあります。 | 本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。 |
| | Windows®セットアップ情報をインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows®以外のOSをご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。 | グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。 |
| コンピューターのパワーマネジメント機能が作動しない | コンピューターのBIOS(Basic Input / Output Systemの略) セットアップ画面内の「Power Management」項目で、「S1」を選択した場合、パワーマネジメント機能が作動しない、または作動後に自動復帰してしまうことがあります。 | コンピューターの「Power Management」項目で、「S3」を選択することを推奨します。 |

その他(リモコン、スピーカー)

| 症 状 | 原因と対処 | 参照 |
|-----------------|--|---------|
| リモコンで 操作できない | <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● リモコンの乾電池の＋が逆に入っていませんか。 ● ディスプレイ本体の受光部に正しく向けていますか。 | P14 |
| 映像は出るが、音が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ● オーディオ出力コネクタに出力した機器から音が出ない場合は、オーディオ入力コネクタの接続コードが外れていないか調べてください。また音声バランスが片側によっていないか調べてください。片側によっている場合はバランス設定をセンターに戻してください。サラウンドがONになるとオーディオ出力は無効になるため、サラウンドはOFFにしてください。 ● 映像入力と音声入力が異なっていませんか。音声入力を切り替えてください。 ● 消音状態になっていませんか。本体またはリモコンのミュートボタンを押して、音が出るかどうかを確認してください。 ● 音量が最小になっていませんか。本体の＋ボタンまたはリモコンの音量ボタンで音量を調節してください。 ● 抵抗ありのオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルをご使用ください。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音声入力の切替えは、映像入力毎に設定が可能です。 | P18, 25 |

映像機器を使用するとき

| 症 状 | 原因と対処 | 参照 |
|---------------|---|-----|
| 映像も音も出ない | DVDプレーヤーなどの外部機器は正しく接続し、正しく操作していますか。詳しくは外部機器の取扱説明書をご覧ください。 | P18 |
| | 本機のパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。外部機器側が動作(再生)状態になっているかご確認ください。 | P21 |
| 色がつかない、色がおかしい | 「画像モード」の「色合い」の調節をしてください。 「画像モード」の「色設定」の調節をしてください。 | P25 |

その他(タッチパネル)

| 症状 | 原因と対処 | 参照 |
|-----------------|---|--------|
| タッチパネルが動作しない | 入力信号が正しく選択されているかを確認してください。 USBケーブルがコンピューターに正しく接続されていることを確認してください。 OSD上で入力機器の切替時、コンピューター側がタッチパネルを認識しないことがあります。USBケーブルを一度抜き差しして下さい。 | P20 |
| タッチパネルが正常に動作しない | 強い光や直射日光がタッチパネルに当たらないようにしてください。 タッチパネルの近くに障害物がないようにしてください。 センサーに埃などが付着するとタッチパネルの反応が悪くなる場合があります。センサーが汚れた場合は、コーナーを始点に綿棒や乾いた布で軽くふきとってください。 | P3, 20 |

お知らせ

タッチを使用した手書き文字記入をお使いの方

文字の記入がうまく出来なかったり、記入した文字が過補正されてしまい手書き通りの筆跡にならない場合があります。

ご使用されているソフトウェアの環境によってフリック機能(ジェスチャー機能)が優先される場合があります。



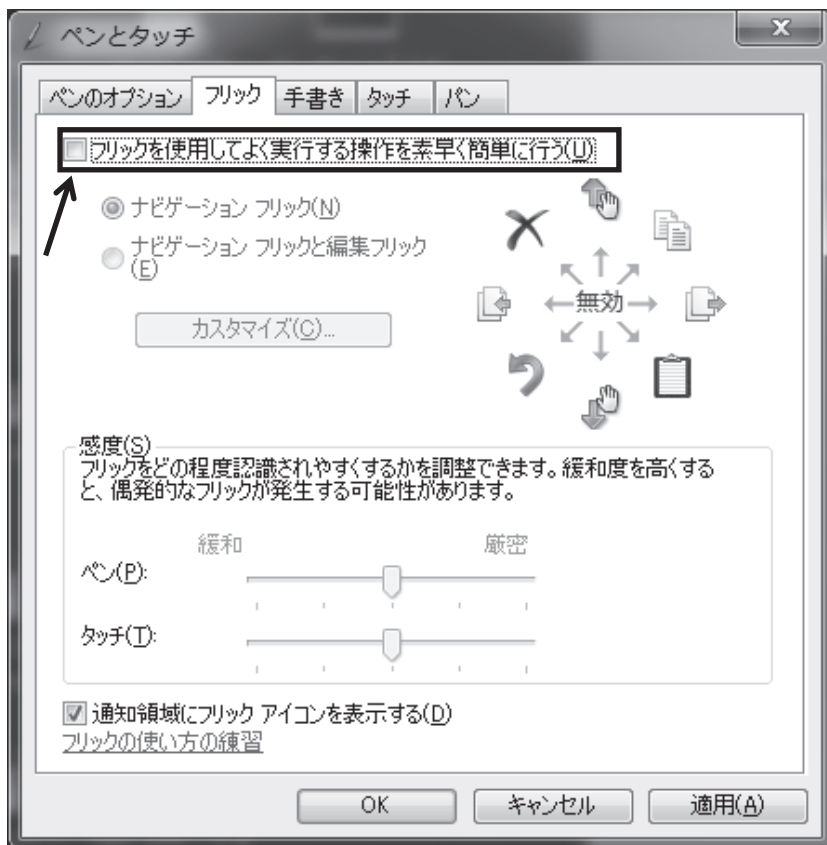
フリック機能が優先され、一部の文字記入が出来なかった例

対処方法

フリック機能を無効にすることで文字記入が改善されます。

以下の手順でフリック機能を無効にしてください。

- ① Windows 7の「コントロールパネル」のカテゴリ「ハードウェアとサウンド」を開いてください。
- ② 「ペンとタッチ」の項目を開いてください。
- ③ タブにある「フリック」を選択し、「フリックを使用してよく実行する操作をすばやく簡単に行う」のチェックを外して無効にしてください。



お知らせ

- 文字記入に関してご不明な点は、当社の商品相談窓口(カスタマーサポート)にお問い合わせください。

本機を廃棄するには(リサイクルに関する情報)

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく指定再資源化製品です。希少資源の再利用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社 Web サイトをご参照ください。

「ディスプレイのリサイクル」について

<http://www.nec-display.com/jp/environment/recycle/display.html>

法人のお客様(産業廃棄物として廃棄される場合)

当社は資源有効利用促進法に基づき、回収・リサイクルシステムを構築し、積極的に資源の有効利用につとめています。回収・リサイクルのお見積り・お申し込みについては上記 Web サイトをご参照ください。

個人のお客様

“PCリサイクルマーク”のシールが貼り付けられている当社製品は、ご家庭からの排出時、新たな料金負担を頂くことなく、当社が責任を持って回収・リサイクルいたします。

- ※ “PCリサイクルマーク”のない製品は、排出時、お客様に回収・リサイクル料金をご負担頂きます。
- ※ 本機をご購入いただいた個人のお客様には、お申込みいただくことにより、無償で“PCリサイクルマーク”を提供いたします。お申し込み方法は上記 Web サイトをご参照ください。



リサイクル

PCリサイクルマーク

お知らせ

- 「ご使用前に」(→P6)のVCCIに関するご説明文中で、「この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、」という記述をしておりますが、これは本機がVCCIクラスBというより厳しい基準に適合させていることから、協議会から指定された文章を記述したものであり、本機は家庭環境での使用を目的とはしておりません。

保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。

| 法人ユーザー様の窓口 |
|--|
| NECビジネスPC修理受付センター |
| フリーコール：0120-00-8283 |
| 携帯電話をご利用のお客様はこちらの番号へおかけください。 0570-064-211(通話料お客様負担) |
| 受付時間：月～金 9:00～18:00 休日は、土曜・日曜・祭日及び年末年始等の所定休日とさせていただきますので、ご容赦願います。 |

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所(付近の目標など)
- 電話番号
- 品名：液晶ディスプレイ
- 型名：E651-T
- 製造番号(本機背面のラベルに記載)
- 故障の症状、状況など(できるだけ詳しく)
- 購入年月日または使用年数

付録

表 1：対応メディア仕様(映像)

| ファイル 拡張子 | コンテナ | ビデオ コーデック | 最大解像度 | 最大 フレーム レート | 最大ビット レート | MPEG-1 Audio Layer2と3 | AC3 | AAC | WMA | L-PCM |
|-----------------------------|----------|-----------------|-------|-------------------|---------------|-----------------------------|-----|-----|-----|-------|
| .mpg .mpeg | — | MPEG-2 Video | 1080P | 30fps | 20メガ ビット/秒 | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| .ts .trp .to .m2ts | MPEG2-TS | MPEG-2 Video | 1080P | 30fps | 20メガ ビット/秒 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | H.264 | 1080P | 30fps | 20メガ ビット/秒 | | | | | |
| .vob | MPEG2-PS | MPEG-2 Video | 1080P | 30fps | 20メガ ビット/秒 | ○ | ○ | | | ○ |
| .mp4 | MP4 | H.264 | 1080P | 30fps | 20メガ ビット/秒 | ○ | | ○ | | |
| .mkv | MKV | H.264 | 1080P | 30fps | 20メガ ビット/秒 | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| | | MPEG-1 | 1080P | 30fps | 20メガ ビット/秒 | | | | | |
| | | MPEG-2 Video | 1080P | 30fps | 20メガ ビット/秒 | | | | | |
| .avi | AVI | MPEG-2 Video | 1080P | 30fps | 20メガ ビット/秒 | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| | | H.264 | 1080P | 30fps | 20メガ ビット/秒 | | | | | |
| .asf .wmv | ASF | H.264 | 1080P | 30fps | 20メガ ビット/秒 | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| | | MPEG-2 Video | 1080P | 30fps | 20メガ ビット/秒 | | | | | |
| | | WMV | 1080P | 30fps | 20メガ ビット/秒 | | | | | |

*一部の動画は再生できない場合があります。特にMP4動画については、エンコーダによって再生できない場合があります。

表2：対応メディア仕様(音声)

| ファイル拡張子 | オーディオコーデック | ビットレート | サンプリングレート |
|----------------------|---------------------|-----------------|-------------|
| .mp3 | MPEG1 Audio Layer 3 | 32Kbps～320Kbps | 32kHz～48kHz |
| .m4a .AAC | AAC、HEAAC | 24Kbps～384Kbps | 8kHz～48kHz |
| .wma .asf | WMA | 128Kbps～320Kbps | 8kHz～48kHz |
| N/A (動画ファイルのみに対応) | LPCM | 64Kbps～1.5 Mbps | 8kHz～48kHz |

表3：対応メディア仕様(写真)

| ファイル拡張子 | Codec(Format) | 写真 | 解像度 |
|---------|---------------|-----------|------------|
| .jpg | JPEG | ベースライン | 15360x8640 |
| | | プログレッシブ | 1024x768 |
| .png | PNG | ノンインターレース | 9600x6400 |
| | | インターレース | 1200x800 |
| .bmp | BMP | — | 9600x6400 |

用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

DDC 2B規格(Display Data Channel) P22

VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DPM (Display Power Management) 21

VESAが提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPMでは、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

HDMI(High-Definition Multimedia Interface) P11, 12, 13, 18, 19, 37

デジタル映像・音声入出力の規格です。

1本のケーブルで映像・音声・制御信号の送受信が可能です。デジタル信号をアナログ変換する必要が無いため高画質な映像とデジタル音声が楽しめます。

Plug&Play P22

Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせず、そのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB規格

IEC(International Electrotechnical Commission)により規定された色再現国際規格です。sRGB対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもしやすくなります。

VESA規格(Video Electronics Standards Association) P9, 21, 22

ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相 P25

アナログ信号をきれいに表示するための調節項目の1つです。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

インターレース P34

1つの画面(フレーム)の表示を1行おきに描く(走査する)方式です。テレビのような動きのある画面を表示するときには、この方式を使用できますが、静止画を表示するには、画面のちらつきが目立ち不向きです。そのため、コンピューターのディスプレイでは、ほとんどのものが、全ての行を走査するプログレッシブ方式(ノンインターレース)を採用し、静止画のちらつきを抑えています。

応答速度 P37

表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ(追従性)のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。

輝度 P37

単位面積あたりの明るさを示す度合いのことで、数値が高いほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比 P37

白と黒の明るさの比率を示す比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

残像 P5

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象です。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「焼き付き防止機能」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角 P37

斜めから見た場合など、正常な画像が見られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像が見られます。

水平周波数/垂直周波数 P37

水平周波数：1秒間に表示される水平線の数のことで、水平周波数31.5kHzの場合、1秒間に水平線を31,500回表示するということです。

垂直周波数：1秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が60Hzの場合、1秒間に画面を60回書き換えているということです。

スクイーズ信号

DVDやBSデジタルチューナーなどの横と縦の比が16:9の映像を、横方向に圧縮して4:3の画面のアスペクトで記録した映像信号。

デインターレース P34

走査方式を、インターレース方式から、プログレッシブ方式に変換することです。

ノイズリダクション

TVアンテナの受信状態が悪い場合などの映像の細かいざらつき(ノイズ)を低減します。

パワーマネジメント機能 **P21**

コンピューターの消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない(一定時間以上キー入力が無いなど)場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度 **P19, 37**

一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

プログレッシブ **P34**

1つの画面を1回の走査で表示する方式です。上から順に走査して全画素を表示していく方式で順次走査方式とも呼ばれます。インターレースに比べると、画面のちらつき感の少ない、きれいな映像を見ることができます。ノンインターレースとも言われます。

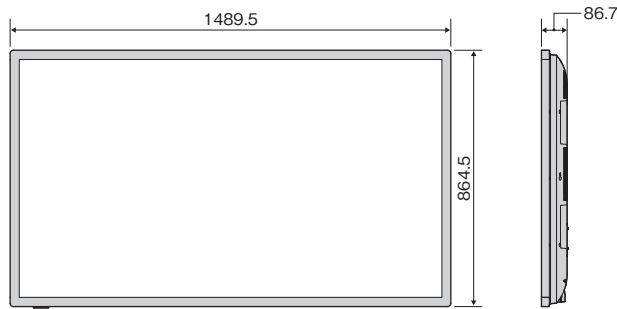
仕様

E651-T

日本語

| | | | | |
|--------------------|---|------------------------|--|---|
| サイズ(表示サイズ) | 65V型(1639.0mm) (対角) | | | |
| 液晶方式 | VA | | | |
| 有効表示領域 | 1428.5×803.5mm | | | |
| 表示画素数 | 1920×1080 | | | |
| 画素ピッチ | 0.744mm | | | |
| 表示色 | 約10億7374万色 | | | |
| 視野角(標準値) | 左右170°、上下170° (コントラスト比10) | | | |
| 輝度 | 400cd/m ² (with cover glass) | | | |
| コントラスト比(標準値) | 4000 : 1 | | | |
| 応答速度(標準値) | 8.0ms (G to G) | | | |
| ドット抜け割合 | 0.00016%以下 | | | |
| 走査周波数 | 水平周波数 | | 15.625kHz ~ 67.5kHz(アナログ)、31.5 ~ 67.5kHz(デジタル) | |
| | 垂直周波数 | | 50Hz ~ 60Hz | |
| 入力端子 | VGA | ミニD-Sub15ピン | アナログRGB信号 | RGB: 0.7Vp-p/75 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60, 1920×1080(60Hz) |
| | | | 同期信号 | セパレート同期信号: TTLレベル 正/負極性 シンクオングリーン: 0.3Vp-p/75Ω 負極性 |
| | HDMI | HDMI コネクター | デジタル色差信号 | VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60, 1920×1080(60Hz)、1125p(1080p)、1125i(1080i)、750p(720p): 50Hz/60Hz、525p(480p): 60Hz、625p(576p): 50Hz、525i(480i): 60Hz、625i(576i): 50Hz |
| | | | デジタルRGB信号 | |
| 音声端子 | オーディオ入力 | 3.5φステレオミニジャック×1 | アナログ音声信号 | ステレオ L/R 0.5Vrms |
| | | HDMI コネクター | デジタル音声信号 | PCM 32, 44.1, 48KHz(16, 20, 24bit) |
| | オーディオ出力 | 3.5φステレオミニジャック×1 | 音声信号 | 入力選択された信号を出力: ステレオ L/R 0.5Vrms |
| 音声出力 | | 内蔵スピーカー: 10W+10W(ステレオ) | | |
| 使用環境条件 | 温度 | 0~40℃ | | |
| | 湿度 | 20~80% (結露のないこと) | | |
| | 高度 | 2000m | | |
| 保管環境条件 | 温度 | -20~60℃ | | |
| | 湿度 | 10~90% (結露のないこと) | | |
| 電源 | 電源入力 | AC100 - 240V, 50/60Hz | | |
| | 消費電力 | 標準 | 140W ^{*1} | |
| | | パワーセーブ時 | 0.5W以下 | |
| | | スタンバイ時 | 0.5W以下 | |
| 質量 | 約42.2kg | | | |
| 検出方式 | IR方式 | | | |
| OS | Windows8, Windows7 | | | |
| マルチタッチ | 10点以上(使用状況によって制限あり) | | | |
| 接続端子 | USB2.0 Full Speed | | | |
| 保護ガラス | 材質 | 強化ガラス | | |
| | 厚さ | 4.0mm | | |
| | 表面処理 | AGコーティング | | |
| | 透過率 | ≦ 89% | | |
| | 外光反射率 | ≦ 2% | | |
| | 表面硬度 | 6H | | |
| ガラス強度 [®] | 100cm | | | |

- ※ 1 工場出荷時の設定条件
- ※ 2 本装置画面中央に500gの鉄球を落としても割れない距離の目安



寸法:mm

仕様は予告なしに変更することがあります。

【お知らせ】 本製品で使用している MPEG AVC ライセンスについて

1. MPEG AVC

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE.
SUCH LICENSE EXTENDS TO THIS PRODUCT ONLY AND ONLY TO THE EXTENT OF OTHER NOTICES WHICH
MAY BE INCLUDED HEREIN. THE LICENSE DOES NOT EXTEND TO ANY OTHER PRODUCT REGARDLESS OF
WHETHER SUCH PRODUCT IS INCLUDED WITH THIS LICENSED PRODUCT IN A SINGLE ARTICLE.
ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C.
SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)